



亀岡市立本梅こども園

四季を感じる自然保育

「本梅町の自然を活かして～発見・出会いから～」

本梅町は四季折々素敵な景色が広がり、子どもたちは1年を通して散歩に出かけたり園で遊んだりして心と体で自然を感じています。子どもたちは、身近にある動植物に触れたり、地元の地域資源である神社や田畑へ出かけ、見たり触れたりして5感を働かせ興味関心を広げています。



活動内容

光や空、風などの自然を感じる子どもたち



うわー さくらきれい



うわー
かわいいピンク



いいにおいー



一番上までの登ってみよう



地元の人々や地域とのつながりを大切にした保育



地域の方に教えていただいて
サツマイモの苗を植えました。



『トントントン』とシイタケの菌打ち
をしています。美味しいシイタケ
ができるかな？

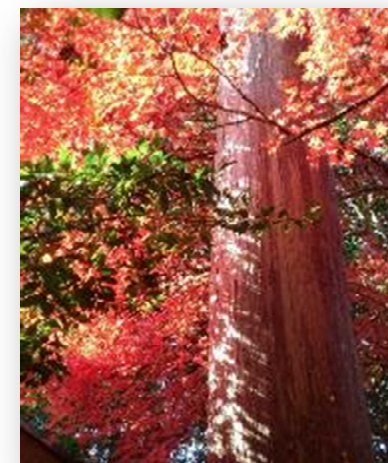


自然の大木に登ってジャンプ！
木の凸凹や狭い隙間も器用に登って体力づくり
にもつながっています。



たけのこがこ
んなに大きく
なっている。

たけのこの様子を見に行くと・・・



お気に入りの散歩コースへ繰り返し行く中で、四季折々の自然の移り
変わりを感じています。



身近な環境に積極的に関わって遊ぶ子どもたち



カブトムシに
なってる



カブトムシドームへ
お引越し



ここは、頭だよ

カブトムシのスライドを見て



カタツムリのうんち「オ
レンジ色や!」「ニンジ
ン食べたからかな?」



テントウムシさん
はじめまして



「あ!カタツムリ」



いつものお散歩コースをマラソン中



子どもたちの気づきや育ち



- 本梅町の四季折々の自然に触れ、1年を通して同じ散歩コースに出かけることで、子どもたち自身が自然にかかわり季節の移り変わりを感じている。
- 自然保育を通して、素敵な出会い(人・物)、素敵な発見から『これ 何かな?』『何かな?』と、互いに話したり考え合ったりする姿が見られる。
- 自然物に触れたり使ったりして、ままごとや制作などの遊びに取り入れて楽しむ姿がある。
- 散歩コースにある橋の下をのぞき込め、『あっ・・・鳥がいるよ』『今日は、黒い鳥がいたね』と生き物との出会いを楽しみにしている。
- マラソンをする中で、『今日は暖かいね』『昨日より寒いね』と気候の変化を体で感じている。
- 雪遊びでは、雪の感触を楽しみ、雪の団子を作る中で丸く固まる雪と固まりにくい雪があることに気づく姿が見られた。



木の
実
みつけた



今日は何が
いるかな?



子どもたちの遊ぶ姿から、直接体験の大切さを感じた。

自然は、遊びを生み出す場であり、直接体験することで、子どもたちは
五感を働かせ『自ら遊びだす力』『楽しい』『友達と一緒にやってみたい』
『伝える喜び』などの姿が見られるようになった。



自然に触れることで人・物と出会い、『発見』『気づき』『なぜ』『不思議』などを
感じ、友だちや保育者と一緒に共感し『好奇心』『想像力』『コミュニケーション能力』
『健康な体』などが育まれていくのではないかと考える。

